

OVER35 ボールルーム部門出場

大東哲平・にに組

アマチュアダンサーの大東組です。私たちは社会人ダンスサークル出身で、二人とも20代後半から社交ダンスの醍醐味を感じていつの間にか踊るのを夢中になりました。国籍も違い、性格も違うのですが、ダンスへの情熱は同じでした。今年でカップル結成11年目です。毎週レッスンと練習に励んでいます。

今年には武道館で行われたアジアオープンのシニア35ボールルーム部門で優勝した結果、Blackpool 遠征補助費を頂ける機会に恵まれました。そして2018年5月末に開催されたブラックプールダンスフェスティバル2018に参戦させていただきました。ご支援いただきましたJALの皆様、誠にありがとうございました。

ブラックプールへの参戦は、2012年以来2回目です。当時はアマチュアボールルーム本選でしたが、今年参戦したのはOVER35BALLROOMシニア選手権(35才以上)部門でした。しかも3才児の子連れでした。試合中に子供の面倒を見てもらうため、父側の祖母も同行してもらいました。

試合本番は25日です。余裕を持って23日夜羽田から出発し、24日朝にマンチェスター空港に到着。前回



と同じくツアーを使わず、自分でルートとスケジュールを考えて計画しましたが、一度経験があったお陰で、バタバタせずにホテル探しも、レンタカー手配も順調でした。

ブラックプールは小さな町です。ホテルはほとんど会場Winter Gardenから徒歩できる範囲にありますので、選手たちはみんな最低限の装備で会場に入ります。燕尾やドレスで歩いてくる人もかなり多く、おとぎの国に入ったような雰囲気でした。

日本の試合よりいい点としては、試合の前後と合間に練習時間がきっちり提供されること、これだけ規模の大きい試合なのに、進行も遅れず着々とテンポよく進みます。主催側の素晴らしさには毎回感心します。

いよいよ試合本番、会場のWinter Gardenのフロアは長くて狭い、一边を二辺だと思って、事前に自分のルーティンを考え直して踊らなければ、けっこう難しいです。

また海外遠征は慣れないフロアで思い切り踊るのが難しい上、時差という大きな問題もあります。ほとんどの部門もそうですが、シニアボールルームの試合は

午後 13 時頃から夜 23 時過ぎまで、遅くまで行われる長丁場です。

最初は順調でしたが、18 時頃の 3 次予選は、日本の夜中 2 時でしたせいか、頭が冴えているつもりでも、体が突然動けなくなりました。それまでと違って、全く実力が発揮できず、ちりぢりばらばらの踊りでした。途中のチェック表が掲載されないため、ドキドキしながら 20 時の最終予選まで待ちましたが、やはりコールされず、最終予選まででした。翌日成績を確認したら、25 位でベスト 24 まで 1 チェック差でした！この悔しさは本当に一生忘れられません！海外遠征にはダンス以外にも時差調整と体調管理が大事だと痛感しました。

しかし、以前本選の時辿り着けなかった Blackpool が誇る生バンドは、今回の 3 次予選で経験できました！やはり生バンドが奏でる格別の音楽で踊れて非常に嬉しく思いました。

それから、プロ並みの仕草をする上位 24 組の最終予選を鑑賞しました。シニアとは言え貫禄がつく踊りを見せていただき、年齢関係せずに、頑張ればいつまでも上手になれると励まされました。

ブラックプールに参戦して改めてダンスについて思いました。出産して練習時間の確保が難しく、何度も現役を引退しようと考えていましたが、続けてよかったと思えました。子供と仕事を持ちながらも趣味に没頭するのは大変なことですが、生活が豊かになった実感があります。

これからも立派なダンサーとなり、観た人の記憶に残るようなダンスを目指して頑張っていきたいと思えます。

最後の一言、時差ボケのせいで、息子はほとんど試合を見られず、終始会場で寝ていました（笑）。

